

リハビリテーション部教育プログラム

育成職種	リハビリテーション専門職(理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士)
病院理念	一人ひとりの健康と安心の探求と実現
組織目標	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の立場にたって、温かく対応します。 ・あらゆる障害を多面的に評価し、全体像を把握することに努めます。 ・常に知識と技術の研鑽を積み重ねます。 ・医療専門職としての自信と誇りを持って、それに相応しい対応を行います。
教育期間	入職後2年以上 1か月, 3か月, 6か月, 9か月, 1年目の終了時に, 自己評価とプリセプター, 主任, 士長による評価を実施
教育内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 見学を中心にプリセプターと研修 ・ 5月 免許交付後に患者担当開始(リハビリテーション室10例まで), 昼カンファレンスで発表 ・ 7月 ベッドサイドの患者担当開始 ・ 8月 カンファレンスで症例発表 ・10月 AMEC, ICUの患者担当開始 ・ 1月 がん患者担当開始 ・入職後2年目 手外科症例・腱板断裂症例・周術期症例, NICU症例の担当開始
教育担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・責任者 理学療法士長 ・実務者 勤務経験年数3年以上の実務経験を有するプリセプター
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①患者の皆様に安心・安全なリハビリテーションを提供できる。 ②部門職員として自立できる。接遇・基本的態度・ ③一般業務・基本的業務について十分に理解し遂行できる。
特記事項	リハビリテーション部スタッフ育成チェックリストは別添を参照

継続教育の目標およびプログラム

	到達目標	レベル別研修
レベルIV	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理者として部門管理がおこなえる。 2. セラピストとして役割モデルとなり、専門性を発揮できる 3. 教育的役割がおこなえる。 4. 研究開発をおこない、変革の推進者となれる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理的側面 2. 実戦的側面 3. 教育的側面 4. 研究的側面 <p>院外研修、学会参加など 管理者研修、講師等</p>
レベルIII	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療チーム内でのリーダーシップを発揮できる。 2. 専門領域における実践役割モデルとなれる。 3. 後輩および学生に対して指導的にかかわれる。 4. 研究・研修を通して実践を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学会、県学会などへの参加 ・研究発表 ・事例検討会 ・基礎プログラム更新、専門研修
レベルII	<ol style="list-style-type: none"> 1. セラピストとしての役割と責任を果たすことができる。 2. 個別的な治療が実践できる。 3. 研修の学びを実践の場に生かすことができる。 4. 課題に研究的に取り組み、実践を振り返ることができる。 	<p>研修会への参加 県士会活動への協力 ブロックでの中核的役割</p>
レベルI	<ol style="list-style-type: none"> 1. セラピストとしての役割と責任を果たすことができる。 2. 基本的知識、技術、態度を身につけ、治療が安全確実に実践できる。 3. 院内研修、院外研修を通して、知識を深められる。 4. 研究活動に参加する。 	<p>新人研修会への参加 院内研修 院外研修会への参加 学会参加等</p>